

各集落の主な取組

町村名	大島町
集落名	大島漁業集落

1 取組の内容

集落の創意工夫を活かした新たな取組

【加工品開発と販売促進】

未利用・低利用資源を活用し、新たな加工品を開発するため、高知県に赴いた。現地では、加工場を視察し、現地の女性部等と交流を図り、加工作業や販売についての意見交換を行なった。また、港での加工品の販売を行い、販路拡大を図った。



販売加工品

2 取組の成果

波浮ミンチ、明日葉ところてん等の新たな加工品が、岡田港での販売により、地元住民へ徐々に浸透している。また、実際に観光客の反応も好評で、ロコミ等による島外へのアピールも期待出来る状況となっている。

町村名	大島町
集落名	元町漁業集落

1 取組の内容

集落の創意工夫を活かした新たな取組

【テングサ藻場造成方法の開発】

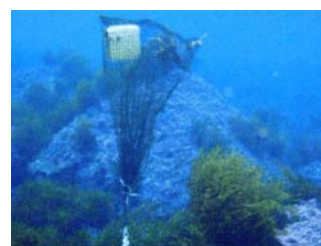
アントクメの藻場造成技術として開発されたスポアバッグによる造成方法を応用し、テングサ藻場の造成方法の開発のため、島しょ農林水産総合センターの協力を得ながら、テングサスポアバッグ製作・母藻採集・設置を実施し、新たな藻場造成を図った。



テングサ母藻

2 取組の成果

テングサスポアバッグの設置による藻場の造成は、アントクメのスポアバックと同様の方法で実施したが、新たな着生はほとんど見られず、期待した効果はあまり得られなかった。今後のスポアバッグの作成方法を再度検討し、次年度以降も藻場造成を進めていく。



テングサスポアバッグ

町村名	利島村
集落名	利島村集落

1 取組の内容

集落の創意工夫を活かした新たな取組

【未利用魚の加工品】

これまで魚介類の鮮魚による島外出荷が主体で、特産物となる加工品も存在していなかった。

そこで、未利用魚を使い特産品となる加工品の開発に取組んだ。



試作品（ウツボの干物）

2 取組の成果

ウツボの干物やブダイのベッコー(調味液漬け)等の加工品を開発し、試作品の発表会を行った。この発表会には、多くの人が参加し、取組への認識が進み、今後の加工品開発につながる様々な意見が聞くことが出来た。



試作品（ブダイのベッコー）

町村名	新島村
集落名	若郷集落

1 取組の内容

集落の創意工夫を活かした新たな取組

【貝養殖】

漁業者の高齢化に伴い、操業が容易で収益が得られるものとして、採る漁業から作り育てる漁業への転換を視野に置いており、アワビが市場で高価取引種であることから養殖への取組みを開始した。



アワビ養殖礁フレーム

2 取組の成果

本年は養殖礁の作製をおこなった。

東京都島しょ農林水産総合センターの指導を受け、飼育行なっており、商品サイズまでの飼育期間は、約3～4年を見込んでいます。アワビは島民のみならず来島者にも買入者が多く、通年販売による計画的な出荷が可能になり、高齢漁業者の操業意欲を保つことに繋がると期待している。



アワビ養殖礁シェルター

町村名	新島村
集落名	本村集落

1 取組の内容

集落の創意工夫を活かした新たな取組

サバ、キンメダイ等を使って煮魚の試験調理及び試食を行った。



販売加工品

2 取組の成果

本年は10種類以上の試作品を作成し、地元給食センター、島しょ保健所、栄養士、地元料理研究会等の会合に出席し、地場産物としての利用方策の意見を聞き、商品の品質向上を図ることができた。

町村名	新島村
集落名	式根島集落

1 取組の内容

集落の創意工夫を活かした新たな取組

【魚の干物加工】

地元産物にこだわった先進的な商品開発の視察や、効率的かつ安全な作業を行うための情報収集を行った。また、島内朝市に参加し加工品の展示を行い、地場産物としての意見収集を行ない、今後の加工品づくりの方向性を検討とした。



朝市への参加

2 取組の成果

地域朝市への参加により、地場産物としてのPRができ、地元の素材を使うことによる食品としての安心感と加工技術の向上による効率的な作業を進めることができた。さらに、地域宿泊業者への素材の安定供給が可能となった。

町村名	神津島村
集落名	神津島漁業集落

1 取組の内容

漁場の生産力の向上に関する取組

【テングサ藻場の造成】

【アオリイカ産卵礁設置】

【キンメダイ等の資源管理(標識放流)】 など

集落の創意工夫を活かした新たな取組

【未利用魚の加工品】

定置網等で捕獲されるが、出荷されない雑魚に付加価値をつけ特産品とするため、未利用魚の加工品開発に取り組んだ。



加工品開発

2 取組の成果

平成19年度も、漁場の生産力の向上に関する取組を中心に行なった。

ムロアジ等の未利用魚の加工品開発では、試作品も完成しつつある。今後はさらに改良を重ね、地域の特産品としての商品化を図っていく。

町村名	八丈町
集落名	八丈漁業集落

1 取組の内容

集落の創意工夫を活かした新たな取組

【トローリング大会の開催とPR活動の検討及び先進地視察】

【未利用魚（トビウオ・ムロアジ）の加工・流通の取組を促進（加工量の増加）するための環境の整備】

【漁獲物のブランド化及び消費拡大の取組（都漁連・築地市場関係者との話し合い）】



トローリング大会釣果

2 取組の成果

トローリング大会の検討及び開催には、集落の漁業者だけでなく、観光協会、商工会、釣宿、行政等様々な参加者の連携のもとで行い、参加者数が増加したことにより、島全体の活性化に寄与してきている。加工品の取組は、学校給食を中心に販路の開拓が進んでおり、漁業者の収益向上だけでなく、参加者のやりがいにもつながっており、今後の進展が期待できる。漁業者自らが漁獲物の出荷や販売について、市場関係者と話し合いを行うことで漁獲物の鮮度保持や出荷形態の改善に対して、積極的に取り組むようになり、一部の魚種で市場価格の向上につながった。



市場関係者と協議

町村名	小笠原村
集落名	父島集落

1 取組の内容

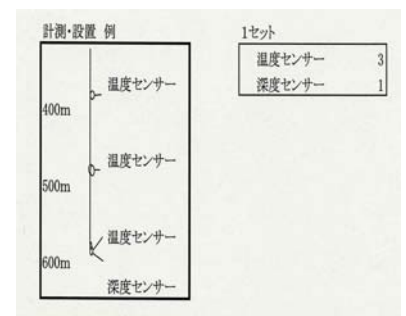
集落の創意工夫を活かした新たな取組

【カジキ立て縄漁業の新漁場開拓】

カジキ立て縄漁業は、父島の主要な漁業であるが、安定的に操業するには、現在の漁場では狭いので、新たな漁場を開拓するため、漁獲水深・水温の調査を実施した。

【メカジキブランド化への取り組み】

メカジキの脂質を計測し、脂質と市場価格の関係を調査することにより、小笠原産のメカジキのブランド化を強化した。



水深・水温調査の模式図

2 取組の成果

参加者の詳細なデータ収集の努力と、小笠原水産センターの協力により、漁獲水深など漁場としての特性が少しずつ明らかになってきた。

また、漁業者が科学的な視点で自ら漁場を開拓することへの意欲が醸成されつつある。

さらに、メカジキの脂質が販売価格に影響を与えていることが分かってきた。出荷先との連携も重要となるので、来年度への目標とする。



脂質調査写真

町村名	小笠原村
集落名	母島集落

1 取組の内容

集落の創意工夫を活かした新たな取組

【鮮度保持マニュアルの作成】

カジキ立て縄漁業は、母島の主要な漁業で、価格も比較的高値で安定しているが、漁船による単価差が出ていることから、鮮度保持技術を向上させるとともに、技術の標準化を図った。

【水産生物観察会】

母島はダイビングやホエールウォッチングなどを目的とした来島者が多いことから、地域の観光団体と連携し、映像資料を基にサンゴ、クジラなどについて観察会、解説等を行うことにより、都市と漁村の交流促進を図った。

【メカジキ販路拡大】

メカジキの販路を拡大するため母島島内において、メカジキの料理コンテストを行ない、島内での普及と特産品の素材としてPRを行なった。



観察会



料理コンテスト審査

2 取組の成果

鮮度保持マニュアル作成は、参加者の詳細なデータ収集と解析により、鮮度保持の方法が明らかになりつつある。

また、漁業者が科学的な視点で鮮度保持技術の開発を行うことへの意欲が醸成されつつある。また、観察会の開催により、都市と漁村の交流を促進した。

メカジキ料理コンテストでは、応募者を募ることでメカジキの食材としての普及効果を得ることが出来、さらに母島フェスティバルにおいて入賞作品を提供したことにより、イメージアップが図ることができた。



料理コンテスト最優秀作品

料理コンテスト最優秀作品